

平成24年2月6日

各 位

株 式 会 社 関 門 海
代表取締役社長 田中 正
(コード番号：3372 東証マザーズ)
問合せ先 経営支援部シニアマネジャー
田淵 広宣
電 話 番 号 06-6578-0029 (代表)

行使価額修正条項付新株予約権（第三者割当）の資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、平成23年10月19日付「行使価額修正条項付き新株予約権の発行（第三者割当）に関するお知らせ」にて開示いたしました「調達資金の具体的な使途」に関し、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、平成23年10月19日取締役会決議により平成23年11月7日に行使価額修正条項付新株予約権（以下、「本新株予約権」という。）を発行しましたが、その際、本新株予約権がある程度早期に行使が進むものと想定し、その調達した資金の使途としまして、事業基盤をより強固なものとするために必要な運転資金、不採算事業閉鎖費用並びに店舗改装費用に充当する予定としておりました。

しかしながら、当社の株価下落状況も影響し、現在までの割当先からの本新規予約権行使は当社が当初想定した規模を下回っており、資金調達額は約32百万円に留まっており、結果として、資金使途及び資金使途の時期の変更を決定するに至りました。

具体的には、まず、資金使途のうち不採算事業スクラップ費用につきましては、既に本新株予約権行使による資金調達が間に合わなかった30百万円を自己資金にて充当しており、また、費用を20百万円削減いたしました。残額100百万円につきましては、事業閉鎖に係る支出発生時期の見直しを行ったため、支出予定時期の平成23年11月～平成24年3月を、平成24年3月～9月に変更しております。

資金使途のうち店舗改装費用90百万円につきましては、店舗改装時期の変更により、支出予定時期の平成24年2月～3月を、平成24年11月～平成25年2月に変更いたします。

2. 変更の内容

本新株予約権決議時に開示いたしました資金使途の変更は、以下のとおりです。

ただし、本新株予約権の行使価額は修正又は調整されるため今後の資金調達金額は増減しますので、下記資金使途につきましては、その資金調達時の優先度が高い項目から順に充当いたします。

(下線部分は変更箇所を示しております。)

具体的な使途	金額 (千円)		支出予定時期	
	変更前	変更後	変更前	変更後
① 運転資金－ 在庫確保資金 (大量仕入費用)	313,770	313,770	平成23年11月 ～ 平成25年10月	平成23年11月 ～ 平成25年10月
② 不採算事業スクラップ費用 〈内訳〉	<u>150,000</u>	<u>100,000</u>		
1. 当社店舗閉鎖に伴う費用	50,000	50,000	平成23年11月	平成24年3月
2. 当社子会社である株式会社トドク ックにおける事業譲渡に伴う費用	<u>90,000</u>	<u>50,000</u>	～	～
3. 当該子会社である株式会社富士水 産における養殖事業の撤退に伴う 費用	<u>10,000</u>	—	平成24年3月	平成24年9月
③ 店舗改装費用 〈内訳〉	90,000	90,000	平成24年2月	平成24年11月
1. 美装化、導線変更、販売商品等の見 直し費用	50,000	50,000	～	～
2. 販売管理システム費用	40,000	40,000	平成24年3月	平成25年2月
合計	<u>553,770</u>	<u>503,770</u>	—	—

- (注) 1. 現在までの資金調達額 32 百万円につきましては、既に運転資金として 13 百万円を使用しており、未だ資金充当していない額 19 百万円は、平成 24 年 3 月頃に不採算事業スクラップ費用として使用する予定です。
2. 本新株予約権発行後、当社の株価下落状況も影響し、当該新株予約権の行使による今後の調達可能額は、現在、約 300 百万円まで減少しております。なお、本新株予約権の行使による資金調達額と資金使途の間に差額が生じた場合には、自己資金にて充当する予定であります。

以 上